



撮影:賛助会 第1ブロック 河尻浩司氏

## 自治体病院とともに55年

### 理念

公益社団法人全国自治体病院協議会と自治体病院の発展に寄与することを目指します

### 基本方針

- ① 協議会と協議会所属病院が行う事業に対し協力します
- ② 会員を対象とする研修会等を実施します
- ③ その他本会の目的達成のため必要な事業を行います

### 会員

病院事業に関わる事業を営む者で本会の主旨を十分に理解した法人です

### 巻頭

公益社団法人 全国自治体病院協議会  
篠崎 裕子 常務理事 インタビュー

賛助会活動報告

新入会社紹介

会員一覧



## 地域と共に、 八重山の医療を守

聞き手：全国自治体病院協議会・賛助会

藤本 陽子 会長  
松本 孝 副会長  
平岡 秀一 副会長  
市川 秀和 広報委員  
大倉 邦弘

### 1 常務理事の活動

#### 事務局

常務理事になられて、2022年の自治体病院学会開催準備が中心になると思いますが、その他にはどんな事をご担当されているのでしょうか？

#### 篠崎裕子先生

私は2020年から常務理事をお引き受けしました。協議会には中小病院委員会というのがありまして、当院も離島の僻地にある病院なので、300床以下の委員会の方に入らせて頂いております。それと通常の委員会とは別に、望月副会長の下、医師の働き方改革推進検討委員会が発足し、そちらにもメンバーとして入らせて頂いております。

#### 事務局

離島の医療体制の問題と医師の働き方改革は、どちらも重要課題でありご苦労されていることと思います。

#### 篠崎裕子先生

はい。僻地や離島という、都会とは別の悩みがある病院が集まりまして、日本地域医療学会を立ち上げることになり、その理事も務めさせて頂いております。

病院総合診療医学会とかプライマリーケア学会などありますが、その中で地域に根づいた医師を育成するのはやはり地域の病院が良いのではないかと、改めて学会をつくろうという動きがありまして、それに賛同して一緒にやろうと考えております。

### 2 沖縄県立八重山病院の新規オープン

#### 事務局

新病院オープンの移転当日までのエピソードなどがあればお聞かせ下さい。

#### 篠崎裕子先生

2018年10月に移転したのですが、当初は2018年3月の移転予定で、私は副院長でした。地域柄、建設業者の作業員不足等で半年工期が延びてしまったため、院長は完成を見届ける事ができず退職となり、私が後を引き継ぐことになりました。院長となって最初の仕事が、病院を安全に引っ越しさせる事でした。移転3カ月前から入院調整を始めたのですが、引っ越しの二日前から台風が接近し、当日までその影響が及んだことで物資、患者の移送が計画通りにいかなかったことが大変でしたが、近隣の介護施設や病院、救急隊員や地元ボランティアの協力を得て問題なく実施することができました。

以前の古い病院は築35年を超えており、また建増しもされていたので、つなぎ目からの雨漏りが頻繁にありました。台風時には職員で「台風当番」を決めて巡回し、雨漏りがあればそこにバケツを置き、窓から吹き上げるのであれば新聞紙やタオルを詰めて応急処置をして対応していましたので、新病院になって患者サービスが向上したことは勿論、それがなくなって良かったと思います。

### 3 離島病院のコロナ対応

#### 事務局

新型コロナのお話になりますが、離島ならではのご苦労がございました。

#### 篠崎裕子先生

当院は第二種感染症指定医療機関で、新型インフルエンザ感染症などの二類感染症に対しては3床、結核病床が6床、合わせて9床の感染病床があります。当初はその陰圧室のみで対応する予定だったのですが、それから徐々に感染者が増えて、一病棟をコロナ病棟にしたという状況にあります。新病院は、救急から直接感染症病床に上げられる専用エレベーターがあるため、他を経由せずに収容できるということもあって最終的に47床まで確保すること

# ります



ができました。今後、病床を増やすのであれば、一つ下の階の病棟の一部を活用することを考えなければならない状況です。

ただ看護体制が、離島では10対1ですので、コロナ病棟は7対1が浸透していて、一つの病棟でも閉めないで看護師の配置が出来ず、経営ダメージは大きいのですがやむなく外科病棟を閉めて対応しました。外科は手術さえしなければ入院はありませんので、緊急以外の手術や検査を止めて入院を抑え、外科病棟の患者は他の病棟に分散して、そこを一旦閉めるということを毎回してきました。

でもそうすると地域に多大な影響が出ます。外科を閉める場合には、検診でがんが見つかった方たちの手術を延期せざるをえず、沖縄本島で受けてくれる医療機関を紹介して手術をお願いしていました。本島に送るとなれば患者ご家族の負担も大きいですし、本来なら医師たちは、患者との信頼関係もあり地元で手術をしてあげたいのに、コロナ禍のために泣く泣く本島に送るということをしていただきましたね。

あと小児・周産期・救急医療はとめられないので、対応する人員は確保しつつ、コロナに特化する人も集めなければならないということで、看護師の配置が大変でした。また八重山病院は、約2/3は他5つの県立病院から異動にて配置されているのですが、とにかくクラスターだけは出さないようにと、単身赴任などで家族が暮らす沖縄本島に帰りたいスタッフにも、渡航制限等の厳しいお願いもしてきました。今は看護師や医師が少なくギリギリでやっている状況の中、濃厚接触者となると14日間休ませないといけないことがとても痛いです。

当院は西表島に2カ所、それと小浜島に1カ所、波照間島に1カ所の計4カ所の附属診療所も運営しています。そちらにも一人ずつ医師と看護師が配置されていて、事務員は地元の人でどうか配置できていますが、コロナ禍に

なって代診としての医師を派遣できず、お休みも十分とれずにストレスは高かったかなと思います。離島でコロナ疑いの方が出た場合の対応については、なるべく診療所には関わらせませんでした。一人しかいない医者がもし濃厚接触者になったら診療所を閉めないといけないからです。コロナ疑いの情報があれば、当院から感染認定看護師や医局の先生を島へ派遣して、診療所とは別に集団PCR検査も行いました。そして検査でコロナ陽性が判明した方々は、保健所が搬送しますので、その搬送がまた大変でした。西表島でしたら、海上保安庁の巡視船にお願いして団体に連れてきてもらうという形をしばらくは取っていました。ただ、距離が余りにあり過ぎる離島は、元気な方でも途中で気分が悪くなってしまうので、これは送れないという判断で、医師に現地に行ってもらいました。そのため、当院は色々なことを経験したかなと思います。

島にコロナ感染者を置いて、重症化した場合に診療所が対応するとすると、一人しかいない診療所医師の負担になるので、原則、コロナ感染者は全員、当院のある石垣島に来て頂くということにしてもらい、最終的には、コロナ感染者が増えて当院でも収用できないとき、県が用意したホテルの療養施設がありましたので、そちらに振り分けました。特に離島からのコロナ感染者は自宅療養というわけにはいかないの、なるべく離島住民は優先的にホテルに入れてほしいということをお願いしていました。

石垣島以外に、竹富島、小浜島、黒島2島、それと波照



# 篠崎 裕子 常務理事 インタビュー

間島、鳩間島、与那国島の、いくつかの小離島をカバーしていますが、人口比率の割合から考えると感染された患者数は多く、ピーク時には県外の方の応援もいただき何とか乗り越えることができました。

コロナに感染した方々は全て八重山病院を受診しようとし、本当に入院が必要なのか自宅療養でもいいのかを当院でトリアージをしました。そのため、コロナ感染者全てを把握しており、自宅に居ようがホテルで療養しようが、ちょっと調子が悪いと言われたらカルテを開いて、直ぐ入院させるか、もう少し様子を見てもらうためにお薬を出しましょうとか、そのような管理ができたんですね。医療に関しては全て当院が把握をして対応していましたから、受診もせずにそのまま自宅で亡くられるということは避けることが出来ました。

コロナ感染者に対応するために、手術は進行性のがんや緊急性の高いもの、予定帝王切開術などは行うこととし、2/3の予定手術は延期になり、1/3まで減った手術を少ない人数でどうにか回していました。スタッフは頑張っているし、自分が感染したらみんなに迷惑がかかると気を遣いながらも、現場の職員の様子を見るために時々コロナ感染症病棟に足を運んでいたのですが、みんな明るいですよ。「大丈夫です!」とか「心はまだ折れていません!」という言葉が返ってきて…。本当にありがたかったですね。だから第6波が来ても、みんなで協力しながらやれるかなと思っています。でも、来て欲しくないですけど。

## 4 2022年全国自治体病院学会in沖縄

### 事務局

11月の開催を楽しみにしております。

### 篠崎裕子先生

1年延びて期間が2年あると思っていましたが、コロナで全然準備が進められず、奈良学会が終了した翌日から

着々と進めているという感じです。

全国の自治体病院の皆さまには、沖縄学会に来て楽しんで頂けるように最大限のおもてなしができればなと思っています。今年の奈良でもそうですけど、参加した皆さまは感染を気にしながら来ていたと思うんですね。だけど沖縄学会には是非“癒し”を求めて来て頂いて、コロナで疲れた心身を癒やして帰っていただける学会にしたいと思います。

会場は、那覇文化芸術劇場「なは一と」いう、2021年10月に完成したばかりの施設を使わせて頂く予定ですので楽しみにしててください。

## 5 賛助会に期待する事

### 事務局

賛助会は設立して54年経ちます。協議会様、会員病院様のお役に立ちたいということで、医療関連企業の有志で発足し、今や136社まで拡大をしております。ただ、なかなか認知度が高まらずPRが必要と感じております。現在、その一環として協議会会員病院様のお困りごとに対して、賛助会員として解決に向けてどんなお手伝いができるのか、橋渡しができるような仕組みを構築中です。

### 篠崎裕子先生

私ももっと宣伝が必要だと思います。こんなに多くの病院関係の業者さんが入ってくださっているのに、「全国自治体病院協議会をバックアップしています」ということをもう少し前面に出してアピールしていただければ、皆さんに浸透すると思います。

困った事が起きた時、それをどこに持って行って、どう相談すればいいのかというのがわからなかったりするので、是非そういう仕組みがあれば、すぐつなげられると思います。いいアイデアだと思いますので期待しています。

### 事務局

本日はお忙しい中長時間お付き合いいただき本当にありがとうございました。



2018年に竣工した沖縄県立八重山病院

## 全国自治体病院協議会・賛助会の活動

### 令和3年 9月10日(金) 令和3年度 第1回研修会

新型コロナ感染拡大の影響によりオンラインでの開催となり、出席者は会員37名の参加となりました。協議会副会長 竹中 賢治先生は「新型コロナウイルス感染症対応自治体病院の2020年度決算見込み額調査報告」、協議会 参与 末永 裕之先生は「COVID19パンデミックを振り返る」というテーマでそれぞれご講演を頂きました。



### 令和4年 2月18日(金) 令和3年度 第2回研修会

新型コロナ感染拡大の影響によりオンラインでの開催となり、出席者は会員37名の参加となりました。協議会 副会長 松本 昌美先生は「ウィズコロナ時代における、自治体病院の現状と課題」、協議会 看護部部会長 小坂 智恵子先生は「自治体病院としての取り組み ~COVID19 対応を通して~」というテーマでそれぞれご講演を頂きました。



### 令和4年 3月9日(水) 賛助金贈呈

賛助会から全国自治体病院協議会に対し、自治体病院の発展を願って、賛助金の贈呈が行われました。



### 令和4年 4月21日(木) 令和4年度(第55期) 全国自治体病院協議会・賛助会 定時総会

剛堂会館にて開催されました。定時総会には委任状出席を合わせ75社が出席し、第1号から第5号議案まで審議の上承認されました。



## 「賛助会の成り立ち」

当全国自治体病院協議会・賛助会は全国自治体病院協議会が1962年4月に設立されたのを受け、自治体病院の発展に寄与することを目的とし、1968年7月17日に病院関連の有志企業によって結成されました。

現在は130社(2022年4月1日現在)が加入し協議会会員である自治体病院に対し医療にかかわる情報の提供、業務改善提案、学会、研究会、講習会、展示会等に対する協力等の事業を行っています。又、様々な行事を通し会員相互の向上を図るための活動も積極的に行っています。

### 主な活動

- 1 定時総会(年次活動報告、収支報告、監査報告)
- 2 協議会との意見交換会
- 3 研修会(講演会、病院見学会等)
- 4 新春賀詞交歓会
- 5 全国自治体病院学会やブロック会議への参加
- 6 協議会との情報交換会(協議会に対し最新事例や業界最新動向・情報を発信)
- 7 寄付活動(協議会及び学会へ)

2022年4月現在、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、上記活動を自粛あるいは形式を変えての開催とさせていただきます。

最新の活動状況は賛助会ウェブサイト上でお知らせしておりますので、ご確認下さい。

## 新入会社紹介

### 第2ブロック

#### 北沢産業株式会社

当社は、食品加工機器・厨房機器の総合販売商社として自社ブランドの商品および世界の優れた商品をご提供する事はもとよりキッチンコーディネイト、厨房設備設計施工、新商品開発、メンテナンスサービス、ファニチャー販売といったあらゆる面からのトータルサポートをお届けしております。私たちの使命は、常にお客様の声に真摯に耳を傾け、市場ニーズの多様化や経営環境の変化にも柔軟に対応できる当社独自の企業価値で、みなさまにより一層のご満足をお届けしていくことです。



### 第3ブロック

#### 株式会社システム環境研究所

当社は日本にはまだ病院経営に特化したコンサルティングを提供する会社がなかった時代にスタート。以来20数年、国立病院、大学病院など多くの病院のコンサルティングを手がけています。主な業務は、病院の経営改善と建替えに関するコンサルティングです。いわば病院運営のソフトとハードの両面から支えていくことが当社の使命です。

当社医療コンサルティングはお客様が医療の切り口から地域社会の幸福を実現する医療コンサルティングとして近隣のみでなく、遠方からも多くのお客様にご依頼頂いております。

ご依頼下さったお客様に心から満足して頂ける医療コンサルティングを目指して日々、現場主義の精神のもとサービスの向上に励んでおり、多くの方々にもオンリーワンの価値をご提供できる医療コンサルティングを目指しています。



### 第3ブロック

#### 株式会社丹青社

私たち丹青社は、店舗など活気あふれる商業空間、展示会をはじめ販促・PRにつなげるイベント空間、博物館や科学館などの文化や技術を広める文化空間等、人やモノや情報が行き交うさまざまな空間づくりをおこなっています。

日本の各業界のリーディングカンパニーや、各自治体、官公庁などのお客さまと継続的な信頼関係を構築し、課題を解決するビジネスパートナーとして、創業以来70年以上にわたり、こころを動かす空間をつくりつづけています。



# お役立ちコンテンツ

全国自治体病院協議会・賛助会は日頃から、「協議会会員病院様に対して、どんな方法で皆様のお役にたてるのか?」ということを考えてきました。

そしてこの度「(仮称)お役立ちコンテンツ」を作成することになりました。

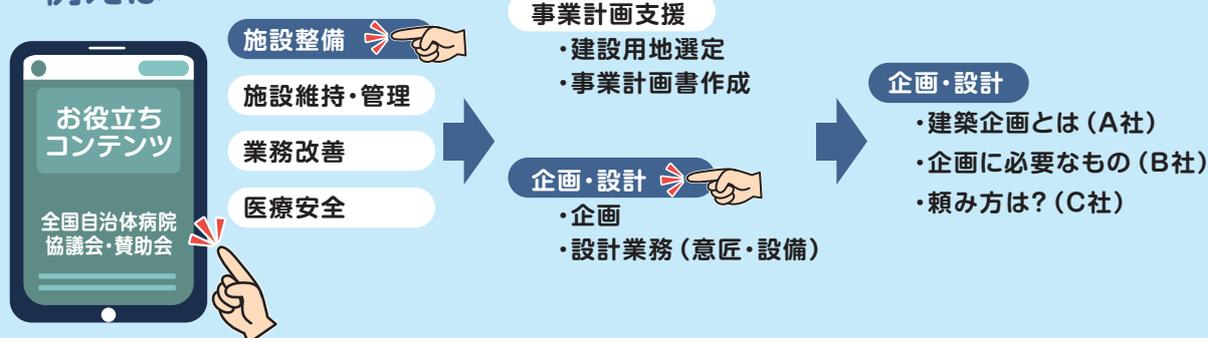
「病院様がお困りの時、直ぐに検索ができて、相談ができる」そのような内容で予定しています。

具体的な内容や時期については未定ですが、詳細が決まり次第、ウェブサイトや広報誌にてお知らせ致します。

今後も賛助会を宜しくお願い致します。

## 賛助会ウェブサイト「(仮称)お役立ちコンテンツ」ページを設置

例えば…



## 編集後記

# “自治体病院の良きパートナー” であり続けるために

全国自治体病院協議会・賛助会は、1968年に病院関連の有志企業によって結成され、医療機器メーカー、卸商社、建築・設備、製薬、ソフト・サービス・コンサルタントまで様々な業界の会社が集結しています。

実際の活動としては、定時総会、意見交換会、研修会、全国自治体病院学会やブロック会議への参加などがありました。この2年間は新型コロナウイルス感染症の影響で、リアルな活動は自粛を余儀なくされています。そのような中、昨年11月の奈良学会には当会のブースを出展させて頂き、皆様のお役に立てる賛助会としてのPR活動を行いました。もちろん今年も沖縄学会にも出展を計画しています。

これからも私共賛助会は、協議会や会員施設様が困った時に頼りにしていただける存在となれるよう、活動してまいりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

公益社団法人全国自治体病院協議会と共に55年  
**全国自治体病院協議会・賛助会**

当賛助会は、公益社団法人全国自治体病院協議会への協力と自治体病院の発展に寄与することを目的としています。

**第1  
ブロック** **医療機器部門  
(25社)**

エア・ウォーター防災(株)  
協和医科器械(株)  
グリーンホスピタルサプライ(株)  
コヴィディエンジャパン(株)  
コニカミノルタジャパン(株)  
サカエ化学工業(株)  
サクラ精機(株)  
GEヘルスケア・ジャパン(株)  
シーメンスヘルスケア(株)  
(株)ジェイ・トラスト  
シスメックス(株)  
(株)島津製作所  
(株)タカソノ  
(株)千代田テクノル  
テルモ(株)  
日機装(株)  
ニプロ(株)  
日本光電工業(株)  
(株)フィリップス・ジャパン  
フクダ電子(株)  
富士電機(株)  
富士フィルムメディカル(株)  
(株)ホギメディカル  
村中医療器(株)  
(株)理舎

**第2  
ブロック** **設備部門  
(39社)**

アーバス技研工業(株)  
(株)アイホー  
アイホン(株)  
アズビル(株)  
アルファエネシア(株)  
(株)アルメックス  
(株)S&Sエンジニアリング  
(株)荏原製作所  
(株)オカムラ  
北沢産業(株)  
(株)くろがね工作所  
(株)ケアコム  
コクヨ(株)  
コマニー(株)  
斎久工業(株)  
三建設備工業(株)  
(株)三晃空調  
シーホネンス(株)  
三和シャッター工業(株)  
炭平コーポレーション(株)  
(株)スローライフジャパン  
(株)セントラルユニ

ダイダン(株)  
高砂熱学工業(株)  
田島ルーフィング(株)  
(株)中西製作所  
日本空調システム(株)  
(株)日本シューター  
日本調理機(株)  
能美防災(株)  
(株)パートナー  
パラマウントベッド(株)  
不二サッシ(株)  
(株)フジマック  
フランスベッド(株)  
文化シャッター(株)  
ホシザキ(株)  
ヤンマーエネルギーシステム(株)  
YKKAP(株)

**第3  
ブロック** **設計建築部門  
(28社)**

(株)梓設計  
(株)石本建築事務所  
(株)伊藤喜三郎建築研究所  
(株)医療開発研究所  
鹿島建設(株)  
(株)教育施設研究所  
(株)楠山設計  
(株)久米設計  
(株)佐藤総合計画  
(株)システム環境研究所  
(株)昭和設計  
(株)大建設  
大成建設(株)  
大和リース(株)  
(株)竹中工務店  
(株)丹青社  
戸田建設(株)  
(株)内藤建築事務所  
(株)内藤ハウス  
西松建設(株)  
(株)藤木工務店  
(株)フジタ  
(株)プラスPM  
(株)松田平田設計  
(株)松村組  
(株)村田相互設計  
(株)山田総合設計  
(株)横河建築設計事務所

**第4  
ブロック** **製薬部門  
(8社)**

エーザイ(株)  
共創未来ファーマ(株)  
沢井製薬(株)  
田辺三菱製薬(株)  
東和薬品(株)  
日本ケミファ(株)  
Meiji Seika ファルマ(株)  
持田製薬(株)

**第5  
ブロック** **資材サービス部門  
(30社)**

(株)アートネイチャー  
(株)INE  
(株)アイシーエム  
(株)アペックス  
(株)アメニティ  
(株)インフォーマート  
(株)ヴァイタス  
(株)エヌジェーシー  
(株)エフエスユニマネジメント  
(株)MHA  
(株)エラン  
(株)LSIメディエンス  
(株)グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン  
(株)ココカラファインヘルスケア  
サントリービバレッジソリューション(株)  
(株)サンワ  
(株)シード・プランニング  
(株)ジェイワールドトラベル

(株)じほう  
(株)ソラスト  
(株)トーカイ  
(株)ニチイ学館  
(株)日本経営戦略人事コンサルティング  
日本調剤(株)  
富士産業(株)  
ベストワールド(株)  
(株)ホスピタルヘルスケア  
(株)丸井工文社  
八尾医療PFI(株)  
(株)リブドゥコーポレーション

会員数 130社 2022年5月1日現在

※各会員企業へのご連絡・ご相談は…

全国自治体病院協議会・賛助会  
<http://www.jmha-p.net/>  
QRコードで確認できます



2022年度 三役会社

会長会社  
副会長会社(会計)  
副会長会社(総務)

(株)エヌジェーシー  
富士電機(株)  
西松建設(株)